

救急医療活動への貢献

- ◆鳥取自動車道供用後は、津山中央病院への所要時間が約10分短縮。
- ◆安定した走行が可能となり、搬送時の患者への負荷が軽減。

(平成22年7月30日ヒアリング調査結果より)

救急医療活動の現場の声

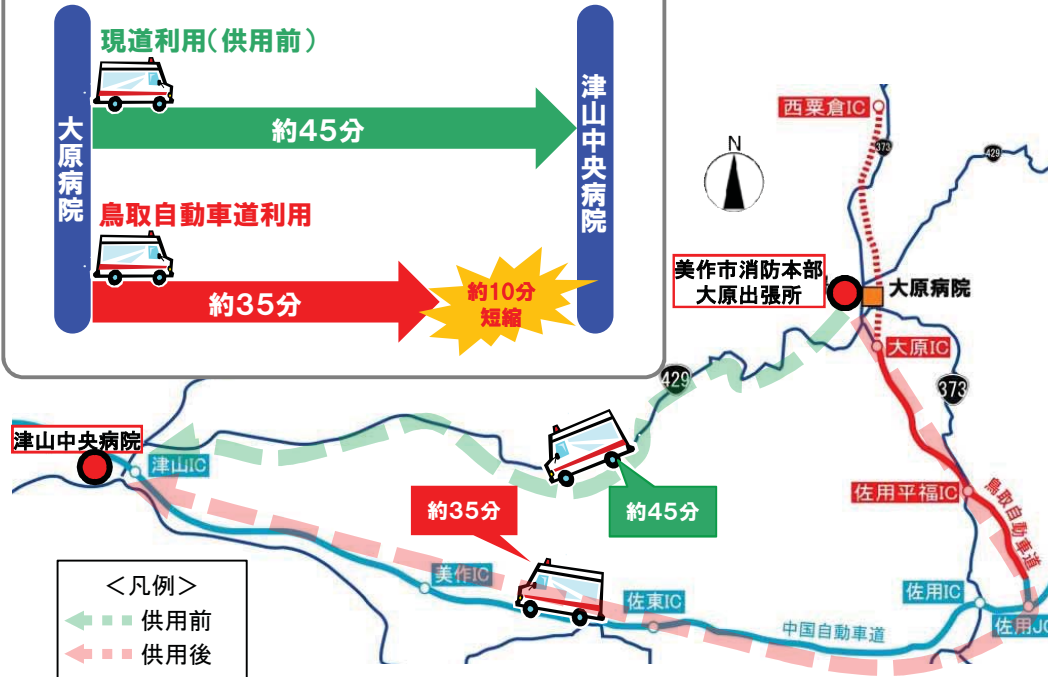


美作市消防本部
大原出張所

- ・供用後4カ月の間に、鳥取自動車道を利用して津山中央病院に16件の搬送を行った。
- ・大原から津山中央病院への搬送は、鳥取自動車道を利用すると約10分短縮できる。現道と比べて距離は長いが、所要時間の短縮効果は大きい。
- ・現道はアップダウンが激しかったが、鳥取自動車道では安定した走行ができ、搬送時の患者への負荷が軽減した。
- ・また、走行中の揺れが少なくなったため、応急処置がしやすくなった。
- ・鳥取自動車道を利用するようになってからは、搬送中に患者の状態が悪化することがなくなった。
- ・救急隊員のストレスも軽減し、安全性の向上につながっている。



■所要時間の短縮 (所要時間はヒアリング調査結果による)



病院の声

- ・救急は年間約300件あり、重篤の場合は、津山中央病院へ搬送を行っている。
- ・上郡から大原病院まで通勤する医師からは、鳥取自動車道が供用し通勤時間が短縮され便利になったと聞いている。
- ・給食外部委託や院内保育等の業者が、鳥取自動車道に沿って開拓を行っているようである。当院にも、鳥取や神戸からの営業が増えている。



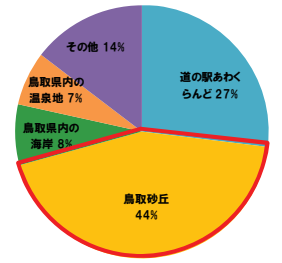
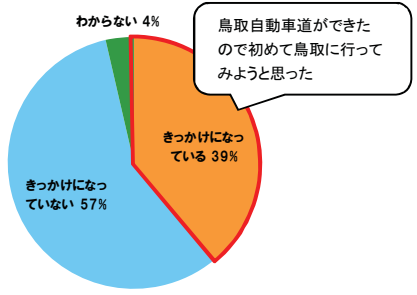
鳥取自動車道供用による地域の声



- ◆鳥取自動車道供用後、鳥取方面への観光客は増加。約4割が、鳥取砂丘へ観光。
 - ◆周辺施設では、利用客・売り上げともに約2割の増加。
- (平成22年7月31日(土)ヒアリング調査結果より)

観光客の声

【姫路鳥取線供用と移動の関係性】(回答者75人) 【観光先(複数回答)】(回答者75人)



※鳥取県内の海岸:白兎海岸、浦富海岸
鳥取県内の温泉地:三朝温泉、皆生温泉等
その他:水木しげるロード、大仙等



50代男性

・早く快適に走行できるようになったので、行く回数が増えた。



30代女性

・鳥取自動車道を利用すると日帰りで観光することができる。

・今までナビに表示されなかったもので、利用しなかった。(50代女性)



周辺施設の声



道の駅あわくらんど 従業員

- ・昨年と比べ“利用客”が約2割増加している。
- ・鳥取自動車道供用後は、自家用車の利用が増えている。特に関西ナンバーが大幅に増えている。
- ・今後も、施設を利用していただくため、案内板などPRを継続的に行っていきたい。



武蔵の里 従業員

- ・関西方面に団体利用の送迎を行う際は、鳥取自動車道を利用している。時間も短縮し運転手の負担軽減になっている。
- ・平日にも姫路、大阪ナンバーの自家用車が多くみられるようになった。
- ・今後、施設看板を大きくするなど、もっと鳥取自動車道の利用者に立ち寄ってもらう取り組みを行っていきたい。

～大原ICサクラの会～

鳥取自動車道は時間短縮効果があるだろうが、全線供用した場合は大原地区は通過される地区となって過疎化が加速するという心配があります。その心配を、前向きにとらえ、地域に立ち寄ってもらうためには、どうしたらよいかをみんなで考えるきっかけとしました。

そこで、“大原ICサクラの会”を立ち上げ、地域の玄関口となる大原IC入口に200本の桜を植樹した。現在の会員数は、約120人。
みんなで活動することにより、地域のつながりを強くし、活性化につながると考えています。今後も継続的な取り組みを行っていきたいと思えます。



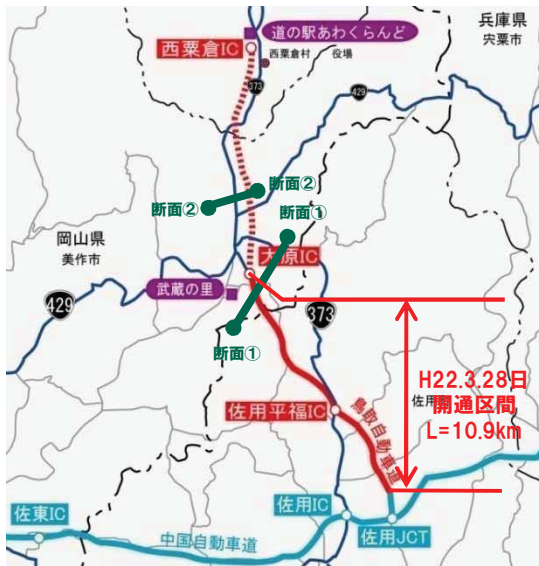
美作市観光振興協議会 副会長
武蔵の里大原観光協会 会長
武蔵の里鎌坂峠ツツジ園の会 会長



【大原IC入口に植樹した200本の桜】

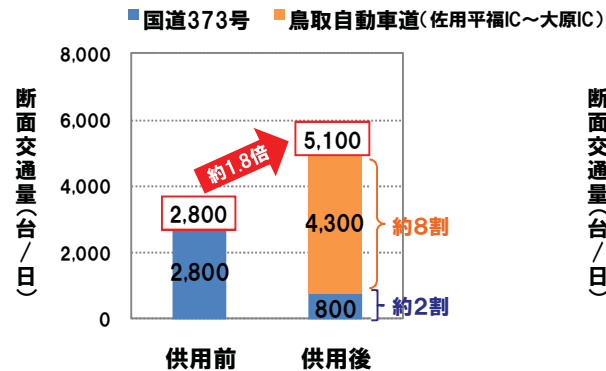
鳥取自動車道（佐用JCT～大原IC間）の利用状況

- ◆鳥取自動車道と国道373号の交通量は、供用前と比較し平日は約1.8倍、休日は約1.5倍に増加。
- ◆鳥取自動車道の利用交通量は、観光等の利用により、休日は平日の約1.5倍の利用。
- ◆地域別の利用状況を見ると、姫路・神戸からの利用が、平日は約1.4倍、特に、休日は約2倍に増加。

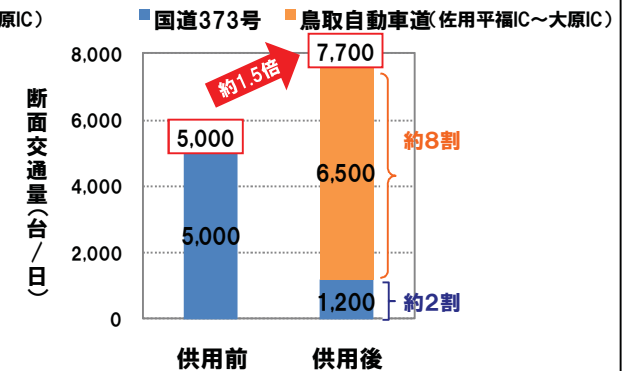


鳥取自動車道と国道373号の利用交通量

【平日の交通量(断面①)】

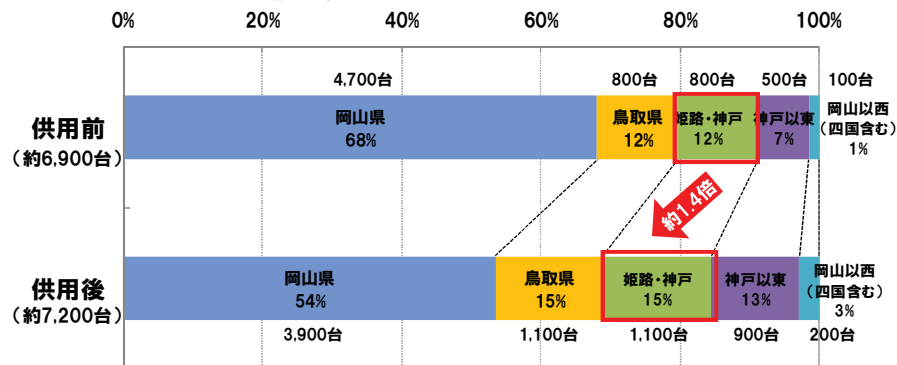


【休日の交通量(断面①)】

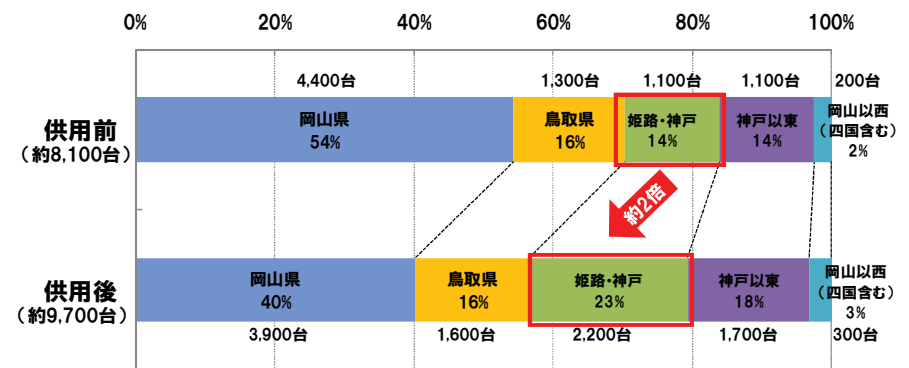


地域別の利用状況

【地域別の平日利用状況(断面②)】



【地域別の休日利用状況(断面②)】



※ナンバープレート調査結果 供用前平日: H21.12.1(火)、供用後平日: H22.7.28(水) 供用前休日: H21.11.21(土)、供用後休日: H22.7.31(土)

交通状況

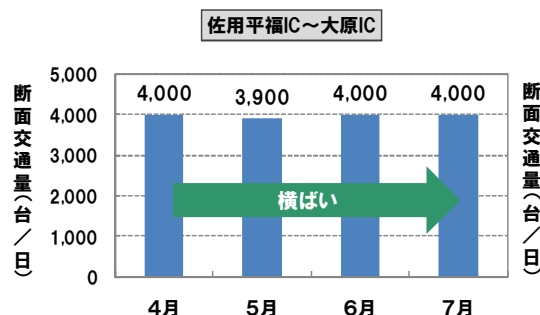
参考

- ◆ 供用直後4月からの推移を見ると、佐用平福IC～大原IC間の交通量は、平日約4,000台、休日約6,000～8,000台で、平日はほぼ横ばい、休日はGWがある5月の交通量が大幅に増加しており、平日の約2倍。
- ◆ 4月～7月の平日平均と休日平均を比較すると、休日は約2倍の利用。
- ◆ 観光・レジャーの利用が多くなる7月の3連休は通常の土日の約1.5倍の利用。

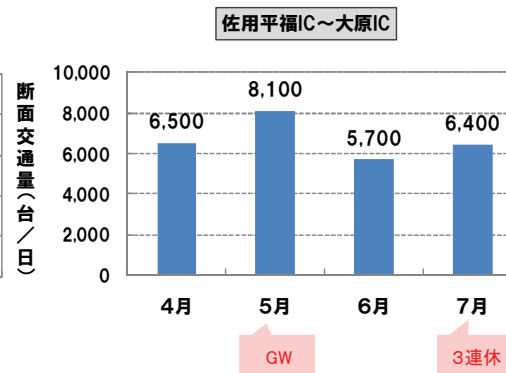


鳥取自動車道の断面交通量

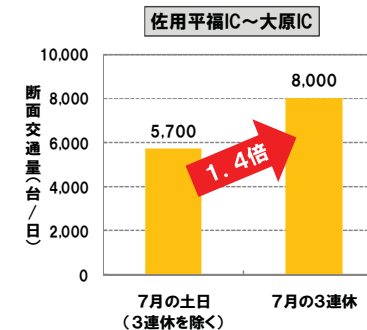
【平日の月別平均交通量(断面①)】



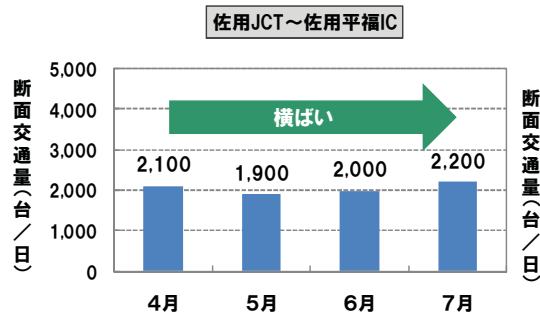
【休日の月別平均交通量(断面①)】



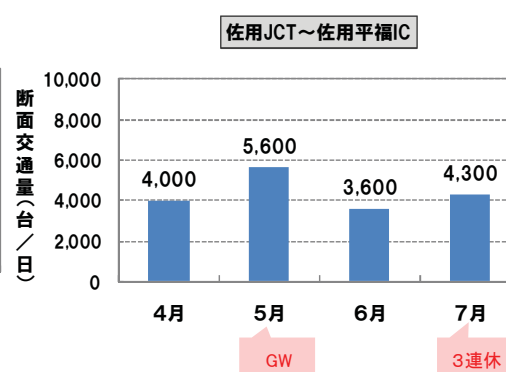
【7月の休日平均交通量の比較(断面①)】



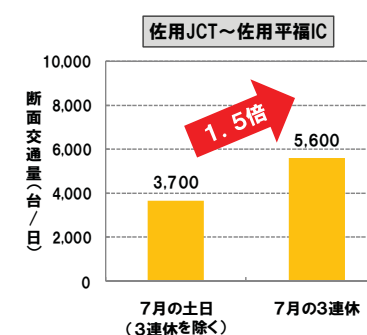
【平日の月別平均交通量(断面②)】



【休日の月別平均交通量(断面②)】



【7月の休日平均交通量の比較(断面②)】

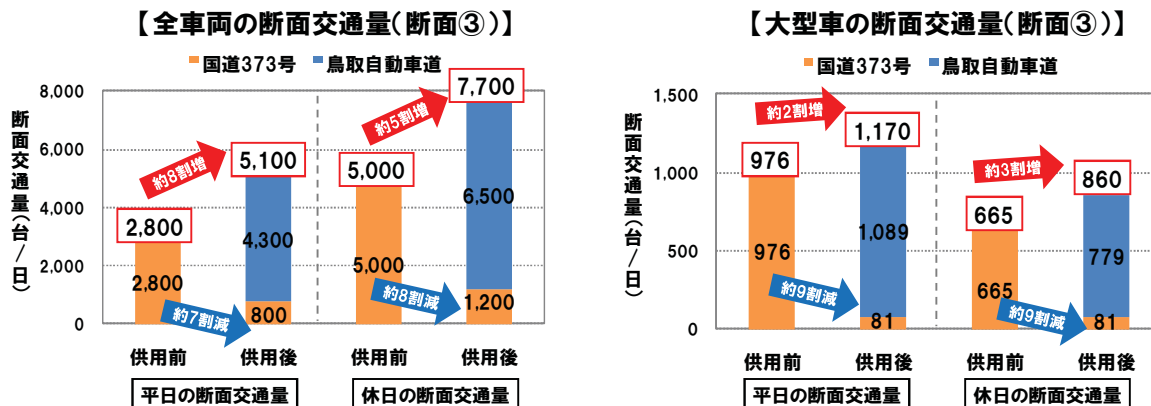


※トラカンデータ: H22.4.1(木)～H22.7.31(土)

- ◆鳥取自動車道と国道373号の断面交通量は平日約5,100台で約8割増加、休日は約7,700台で約5割増加。一方並行する国道373号は約7割減少。大型車に着目すると、平日休日ともに国道373号の交通量は約9割減少。
- ◆地域別の交通量を見ると、岡山ナンバーは減少し、岡山県外の利用が増加。特に、休日の姫路・神戸ナンバーは約1,100台と大幅に増加。

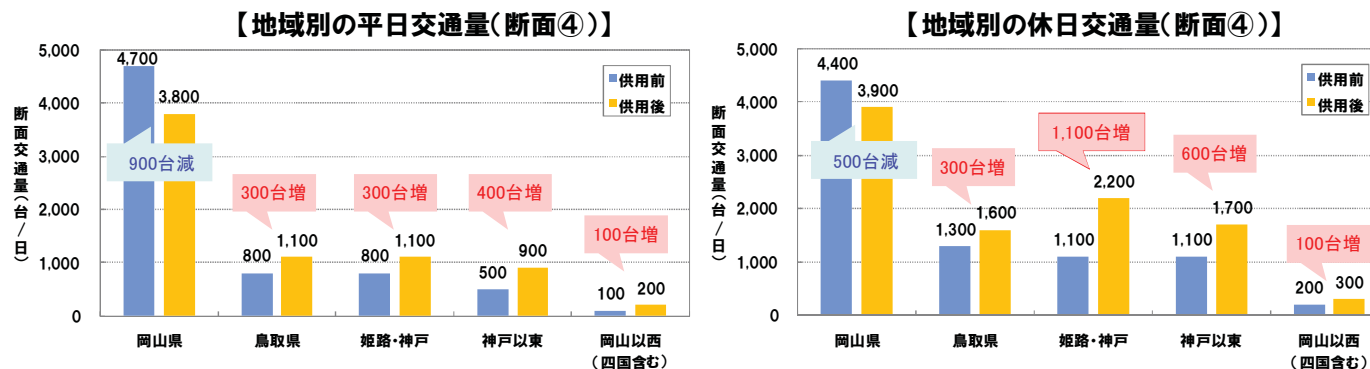


国道373号と鳥取自動車道の分担状況



※<国道373号>交通量調査結果 供用前平日: H21.12.1(火)、供用後平日: H22.7.28(水) 供用前休日: H21.11.21(土)、供用後休日: H22.7.31(土)
 <鳥取自動車道>トラカンデータ 供用後平日: H22.7.28(水) 供用後休日: H22.7.31(土)

地域別の利用状況



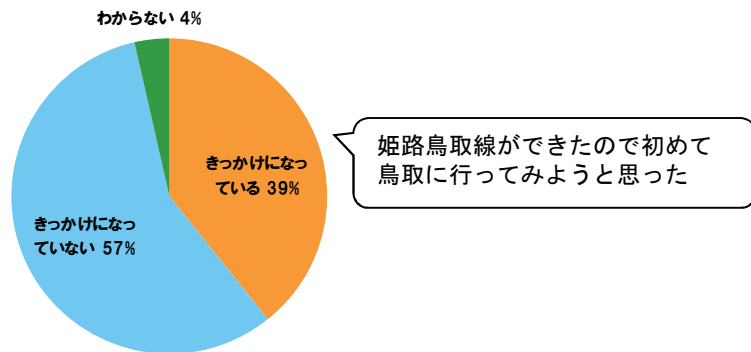
※ナンバープレート調査結果 供用前平日: H21.12.1(火)、供用後平日: H22.7.28(水) 供用前休日: H21.11.21(土)、供用後休日: H22.7.31(土)

観光客への影響

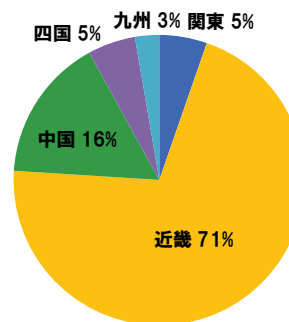
参考

- ◆鳥取自動車道が供用したことがきっかけになって、鳥取への移動が増加傾向。
- ◆所要時間の短縮や安全性向上などの効果がある一方で、PR不足なのでもっと広報してほしいといった声も挙げられている。

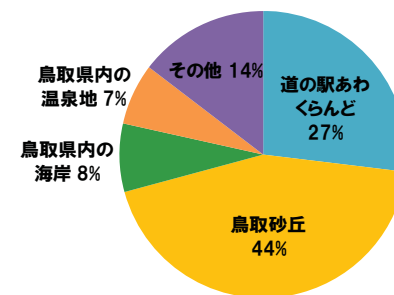
【姫路鳥取線供用と移動の関係性 N=75】



【アンケート回答者の居住地 N=75】



【観光先(立ち寄り含む) N=75】



※鳥取県内の海岸:白兔海岸、浦富海岸
鳥取県内の温泉地:三朝温泉、皆生温泉等
その他:水木しげるロード、大仙等

【観光客の声】



30代女性

- ・ **早くて走りやすいため**、鳥取方面（砂丘、海）や道の駅に出かけることが増えた。
- ・ 以前は、半日かけて行って少し観光し、宿泊してまた半日かけて戻るといった感じだったが、今後は**気軽に立ち寄ることができそう**。
- ・ **日帰りで観光**することができるので、**時間が有効活用**できる。

(平成22年7月31日ヒアリング調査結果より)



50代男性

- ・ **早く快適に走行**できるようになったので、**行く回数が増えた**。
- ・ **カーブが改善**され、身体負荷があまりかからないので、今後は**高齢の両親も連れて観光**に行こうと思う。

(平成22年7月31日ヒアリング調査結果より)

- ・ ナビに表示されなかったため、利用しなかった。(50代女性)
- ・ 時間短縮をもっとアピールすべきである。(30代男性)

(平成22年7月31日ヒアリング調査結果より)

【鳥取自動車道供用による効果(想定含む) N=75(複数回答)】

